専任教員の教育・研究業績

所属	1.05.1	職名			氏名						Eにおける研究	無		
	育学部	講師			坂田 実加				指導担当資格の有無			7111		
I 教育活		5 1. 2. 3	II. /-++							Inr		7117		
教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)						年月日 (期間)				概		要		
		2020年度~現在			「数学」	の授業	資料を全	てWeb上に公開し	、本学の)学生であれば自				
「数学」授業資料のWeb上への公開								由に閲覧・印刷できるよ 「統計実習」の授業資料				·開1. 本	ご学の学生であれ、	
「統計実習」授業資料のWeb上への公開								ず自由に閲覧・印刷でき				マー・フーエ くはがり		
2 作成した教科書、教材、参考書														
3 教育方法	去・教育実践に関す													
4 その他	教育活動上特記す~	べき事項												
Ⅱ 研究活	 動							<u> </u>						
著書 (単著)														
書名				著者		総頁数		発行所			発行地		発行年月	
著書 (共著・分担執筆)														
	題目/書名			著者/編者	初(始)頁~	終負	発行所			発行地		発行年月		
原著論文(審査機関を有する学術誌に掲						かない。) 誌 名		巻初(始		知 (松) 百-	49 百	発行年月		
題名 On multiple zeta values of extremal						Bulletin of the Australian		93-2		186頁~193頁	初(始)頁~終頁 86頁~193頁			
height Taylor series for the reciprocal			-			Mathematical Society Proceedings of the Japan		33 2	, 1000 1000			2016年4月		
gamma function and multiple zeta values			M. Sakata					93-6		47頁~49頁		2017年6月		
On multiple zeta values and finite multiple zeta values of maximal height			H. Murahara and ⊙M. Sakata			International Journal of Number Theory		14-4		975頁~987頁		2018年5月		
総説						•					•			
題名			著者			誌名			巻		初(始)頁~終頁		発行年月	
		桟報告」、	「研究」	ノート」等区分を	記入)									
区分 題名 研究/- 高さが最大、最小の多重ゼータ		著者			誌名			巻		初(始)頁~	-終頁	発行年月		
	別の関係式		単	坂田 実加		第8回数論女性の	集まり	報告集			44頁~48頁		2015年	
学会発表(「[1学会(-	一般演題、	、シンポジウム、	課題研究	℃、講演等」、「? T		等区分を	記入)		相式		∞ ⇒ ≯ ⊅	
	区分 年月 内(一般演題) 2017年2月18日 第136回		学会名 1日本粉学会九州支郊例会			演題名 高さ最大、最小の多重ゼータ値			間の関係 福岡教育		場所		発表者名	
研究会	2017年2月18日	第10回参	第136回日本数学会九州支部例会 第10回多重ゼータ研究集会&第34 8 重 ゼータ研究会 (共同関係)										坂田 実加	
研究会	2017年3月15日		多重ゼータ研究会(共同開催) 神戸大学代数セミナー			式の一般化高さ最大の多重ゼータ値		[について		神戸大学		坂田 実加		
研究会 2020年10月16日 Friday To			Tea Time Zoom Seminar			高さ最大の多重ゼータ値について			名古屋大学		大学	坂田 実加		
科学研究費等の	の取得状況					I				1		1		
科学研究費/	その他の助成金/タ	部資金												
区分種類						通目 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		代表・分担の別		期間		助成額(期間内の総額)		
科学研究費特別研究員奨励費			多重ベルヌーイ数のpーor 澤理論の研究			derとp進L関数および岩		代表 2		2014年月	2014年度~2017年度		2,500,000円	
特許	•							-		-				
	特許名称		発明者/出願人		出願日/出願番号 公開		番号 取得し				番号	国		
									=	\Rightarrow				

Ⅲ 加入学会および社会における活動											
期間	内容										
加入学会											
2014年10月~現在	日本数学会 会員										
社会的活動											
IV 管理活動											
期 間	内 容										
委員会活動	四季县众 委員										
2020年4月~2021年3月	FD委員会 委員										
2021年4月~現在	カリキュラム委員会 委員										
2021年4月~現在	研究委員会 委員										
2021年4月~現在	図書館委員会 委員										
特別プロジェクト活動											
V クラブ活動の指導業績											
1. 指導クラブ名 卓球	部 2. 役職 2020年4月~2021年3月 部長 3. 部員数 0 人										
4. 現場指導の頻度 ④ ① ほほ	毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない										
5. 合宿指導 年間合宿回数:	0 回 延べ日数: 0 日										
6. クラブの競技力向上への取り組み	④ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない										
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	④ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない										
8. 部員の就職指導への取り組み	④ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない										
9. 年間の引率公式大会名	大会名 期間 場所										
10.クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)											
開催期間	大会名 成績 場所										
VI 賞罰(職務に関する賞罰)											
年 月 受賞等機関	名 内容 備考										